

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

8

第843号

2026年8月10日発行

北海道の難読地名

留萌

難読レベル

★★★★☆

黄金岬からみる落陽(留萌市大町)

CONTENTS

2 第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会のご案内

3~5 令和8年度上期北海道地区印刷協議会開催される

6 HOPE2026開催のご案内

7・8 HOPE2026セミナーのご案内

9 HOPE2026展示会会場案内図

10・11 HOPE2026出展機器のご案内

12 北海道印刷関連業協議会新役員決まる

12 (株)アイワードが「HOKKAIDO森と本をつなぐ展」を開催

13~17 暑中見舞名刺交歓

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組む印刷会社が製作した印刷物です。

第34回 北海道情報・印刷文化典 札幌/小樽大会

Sapporo
×
Otaru

●記念式典 14:30～15:15 グランドパーク小樽(小樽市築港11-3)

●記念講演 15:30～16:30

講師

全日本印刷工業組合連合会 会長

瀬田 章弘氏

全日本印刷工業組合連合会

常務理事・産業戦略デザイン室委員長

江森 克治氏

コーディネーター

ニュープリンティング株式会社 専務取締役 菅野 孝市氏

●記念パーティ 17:30～19:30

●会 費 15,000円

主催／北海道印刷工業組合



瀬田 章弘氏



江森 克治氏

2026.8.21^{FRI} グランドパーク小樽 14:30-19:30

J-CONNECTを一番武器にできるのは北海道

令和8年度上期北海道地区印刷協議会「総括会議」

令和8年度上期北海道地区印刷協議会が、6月26日午後2時から、札幌市中央区の札幌パークホテルで、全印工連から福田浩志副会長、浜田彰常務理事・組織活性化委員会委員長、小島武也常務理事・サステナビリティCSR委員会委員長、抜井諒一事務局次長ならびに平山達也沖縄県工組理事長と組合員ならびに賛助会員約40人が出席して全体会議、委員会、総括会議、情報交流会を行い、価格競争から脱却し、価値協創を実現するための各種事業への理解を深め、組合加入メリットを追求した。

総括会議における各委員会の発表、理事長総括、全印工連感想所見の概要を紹介する。

(前号よりつづく)

委員会討議内容発表

組織活性化委員会 齊藤満生委員長



委員会の出席者が少なかったため途中から青年部委員会と合同で会議を開催した。全印工連の浜田委員長に全体的な流れを説明いただき進んでいった。J-CONNECTの周知協力を要請し、サイバーリスク保険は我々も他人事ではないので制度説明をした。ベネフィットステーションは福利厚生サービスの一環として組合が押している制度であり、加入社が増えると組合にもメリットが出てくるので、周知を図るので加入いただきたい。組合員台帳調査は8月上旬に送るので100%提出を目指しているので協力をお願いしたい。

経営革新マーケティング委員会 大和繁樹委員長



昨年度に引き続きローカルゼブラを展開する。北海道は広く、各都市において人手不足等いろいろと

あると思うが、旭川では高校の体育館を借りて地元企業を高校生に見ていただき工場見学をしたという盛り上がりを見せていて、地場の盛り上がりにつなげている。AIについては、昨年に続きAI研究会のプロジェクトチームを立ち上げる。昨年の成果を冊子として販売している。人数制限はなくオンラインの会議になるのでAIについて興味のある方は参加してほしい。製作の現場でAdobe Fireflyを使っていると思うが、会社のいろいろな資料をAIに読み込ませて経営に役立てるといいう使い方もこれから出てくるという意見もある。実際に行っている会社もある。研究会に入って一緒にやっていけば勉強になると思う。

教育研修委員会 下國延彦委員長



今年度から全印工連で印刷ブランディングプロジェクトが始まった。印刷が多様な分野に携わっていることを伝えることにより、若年層を中心とする求職者増加につなげるために全国の印刷会社や関連業者から印刷業界の魅力を伝える動画コンテンツを自由な切り口で募集するので協力をお願いしたい。今期のセミナーは、昨年に引き続き、営業マン向けに開催する。リコージャパンに外部講師のセミナーメニューがあり、無料で提供いただけることになったので講師を選定していく。セミナーで勉強したあとに懇親会で営業マン

の交流を深めていただいて、道内での情報共有、仕事でも協力できる関係性を構築していきたい。10月9日もしくは30日で調整をしたい。詳細は後日お知らせするので協力いただきたい。

サステナビリティ・CSR委員会 岡部信吾委員長



CSR認定制度は、今回からスリースタープレミアムという新しいランクができた。ワンスターは今まで8項目すべて回答して申請していたものが、必須4項目+αで良いことになって申請しやすくなったので検討いただきたい。CSR制度について制度の認知度をもう少し上げられないのかという意見があった。再エネ電力の切り替えは、みんな電力というサービスを検討してほしい。環境対応事業はエネルギーを見える化することによってコストダウンにつながる。GP工場・環境推進登録工場は東京都では入札の条件に入っているということであり、時代の流れとして北海道もなることがあるかもしれないので取得に取り組んでほしい。地区協と委員会の事前報告会、事後報告会を行っているので、委員の方に周知させていただく。次回は7月28日である。

青年部委員会 杉川真委員長



明日、山形で第1回の全青協正副議長会議があり、まだ細かいところは決まっていないが、今年度の全青

協議長の四橋議長がテーマに掲げている「不完全スタート」について説明した。明日、北海道ブロック協議会の日程等が決まるので、後ほどお知らせするので参加いただきたい。ブロック協議会に参加したことがない委員と過去の活動内容を共有し、組織活性化委員会と合流した。

理事長総括

岸昌洋理事長総括



今日は地区協議会ということでさまざま事業の説明、さまざまな制度設計の取り組みの説明をすることで、各委員会に分かれていただいて、各委員長から説明、報告をいただいた。それを是非、自社に取り込んでいただいて、取り組むもの、今ではないもの等、取捨選択いただき、実践をしてほしい。自助・共助・公助は、私が組合に関わってかなりの年数になるが、そのころから言われていたことで、昔から言われていた共助は正しく群れる、愚痴の言い合い、人の悪口でなく、正しく群れていく。今日はまさにその場である。それを自助として自分たちの会社にもボトムアップしていく、そういった場である。J-CONNECTは、北印工組としては全社に登録していただく。現在、いろいろな案内を事務局からFAX等で届けているが、基本的には将来これを止める。見ていない、知らないということをや極力無くするためにこの取り組みを行っているということであればこれをフル活用させていただいて、FAX等アナログは徐々に無くしていく。北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会が8月21日に小樽で開催され

るので是非参加いただきたい。これはお願いである。9月2日・3日の2日間、HOPEを札幌で開催するので是非足を運んでいただいて、いろいろなセミナーもあるので聴講いただいて、皆さんの糧になるような設えをしていくのでよろしくお願いする。

全印工連感想所見

福田浩志副会長からの感想所見



福田浩志 氏

全国9地区協で、単独工組で地区協を開催しているのは、北海道と東京だけである。今日ここで皆さんが情報を共有しても組合員の皆さんにその情報を伝えるというのは本当に難しいと思う。これだけ多くの事業を行っているとは初めて聞いたという事業も多いと思う。北海道は広いので、J-CONNECTがもしかすると一番武器になるのは北海道かもしれない。距離等を超えてすべての情報、全印工連が何を行っているかを見られるようになる。それも組合員全員が見られるようになる。これを有効に活用していただくのと、Web・AI等最新の技術を活用し業界を盛り上げてほしい。ペーパーサミットを開催する。今さら紙かと思われるかもしれないが、もちろん我々は紙に拘らずに情報というキーワードで会社を発展させなければならないが、紙ももう少し認めてもらいたいということで、紙のポジティブキャンペーンをやろうということになった。もともと大阪で行っていた事業であるが今回、全印工連としてペーパーサミットという行事を行う。紙の価値を再認識していただくということで、ポイントは印刷

組合が行っているだけでなく、紙を売っている卸商の日本洋紙板紙卸商業組合と共同で主催をしている。日本製紙連合会も協力という形でブースを出してもらう。紙に関わる業界全員参加でやろうという行事である。是非皆さん来てほしい。

小島武也常務理事・サステナビリティCSR委員長からの感想所見



小島武也 氏

情報を伝えるのは難しいと思っている。全印工連に84の事業があって、皆さんが一回、話を聞いて正確に伝えるのは非常に難しいと思う。我々としても伝えるプラットフォームを作ったり、伝え方を工夫したりして、皆さんの事業が発展できるようにしていきたいと思っているので協力をいただきたい。

浜田彰常務理事からの感想所見



浜田 彰 氏

J-CONNECTは、北海道ならではの使えると組織活性化委員会で話をしたが、例として、東京で納める仕事が北海道で発生した時に、運賃を考えれば、東京の仲間を検索をしてそこで刷ってもらって納めれば移動コストが安く済む。広い北海道で仕事のやり取りをできるのは北海道の特異なところである。こういった仕事ができないというときに北海道内でできる設備があればそれを使っていくことにJ-CONNECTは期待ができる。

HOPE2026開催のご案内

H OPE(HOKKAIDO PRINT EXPO)は、展示会とセミナーを組み合わせた情報発信と学びの場として、2016年からこれまで9回開催して参りました。

お陰様で多くの方々から高い評価をいただいております。

印刷産業を巡る環境は、少子化と急速な高齢化などの社会経済の構造的な課題、中東情勢の不安定によるさらなるエネルギー・原材料価格の高騰、人手不足への対応などが強いられ、依然として厳しい状況が続いており、加えて価格転嫁対策、脱炭素への取り組み、DXや働き方改革の推進などの課題も山積している。

このような未曾有の転換期の渦中にあり、印刷企業が持続的な発展を遂げるためには、過去の延長線から脱却した新しい印刷産業へのリ・デザインが求められている。

そのためには、ハードとソフトの両方に着目をして、新しい目線で印刷産業を捉え、印刷産業が発展を遂げられるようにしていかなければなりません。

さらに、デジタル・AI技術等の急速な進展により、社会における情報の多様化が加速し、文化と情報コミュニケーションの担い手である印刷産業の果たす役割と責任は一層重要になり、社会や人々から求められる期待も日増しに大きくなっている。

このような状況を踏まえ、第10回となります今年の「HOPE2026」は、出展者の皆さんと来場者の皆さんがコミュニケーションを図り、各社が新たな価値を見出し、新しいかたちのビジネスを展開し、発展を続けられるよう開催準備を進めている。

本年も、9月2日(水)・3日(木)2日間の平日に、札幌市白石区のアクセスサッポロで、「DX共創・デジタル革命～印刷は儲かるビジネス、紙メディアの魅力をデザインする～」をテーマに開催する。

HOPE2026は、過去9回の反省点を踏まえ、さらに工夫を凝らし、情報発信と学びの場として、より有効に活用できるように努める。

情報発信の場としての展示会では、45社の皆さまから、印刷産業として勝ち続けるための最新の機器・技術・サービス・情報等が紹介される。

学びの場としてのセミナーでは、実行委員会主催のパネルディスカッションとテクニカルセミナー、6社の出講による6セッションの出展社企画セミナーの合計8セミナーを構築し、経営・営業・技術・サービス・情報等について広く勉強の機会を用意させていただいた。

主催

HOPE実行委員会

北海道印刷工業組合
北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合
北海道製本工業組合
北海道フォーム印刷工業会
北海道紙器段ボール箱工業組合
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会北海道支部

後援

経済産業省北海道経済産業局／北海道／札幌市
北海道中小企業団体中央会／札幌商工会議所
一般社団法人北海道中小企業家同友会
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会

協賛

(株)印刷出版研究所
ニュープリンティング(株)
印刷タイムス(株)

会期

令和8年9月2日(水)、3日(木)
10:00～17:00(3日は16:00終了)

会場

アクセスサッポロ(札幌市白石区流通センター4丁目3番55号)
展示会：Dホール
セミナー：小展示場・レセプションホール

交通機関

公共交通機関利用の場合は、地下鉄東西線「大谷地駅」またはJR函館本線「厚別駅」が最寄り駅になる。
車で来場の場合は、無料駐車場が利用できる。

展示会出展社

45社／76小間

展示会出展機器

印刷機械、プリプレス機器、製本機器、情報機器、加工機械等総合印刷機器、各種ソフトウェア、印刷製品等

セミナー

パネルディスカッション・テクニカルセミナー・
出展社企画セミナー(6セッション)
合計8セッション



HOPE2026 セミナー／第1日—— 9月2日(水)

[会場] A：小展示場(1階) B：レセプションホール(2階)

受講料：無料

10:30~12:00	HOPE実行委員会	会場：A／パネルディスカッション／定員：50人
テーマ：印刷業界4団体会長が本音と覚悟を語る ～今、印刷業界に求められていること・その導線をどう考えるのか～ 《パネリスト》 全日本印刷工業組合連合会 会長 瀬田章弘氏 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会 直前会長 岡本泰氏 一般社団法人日本グラフィックサービス工業会 会長 原田大輔氏 日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会 会長 錦山慎太郎氏 全日本製本工業組合連合会 会長 田中眞文氏 《ファシリテーター》 印刷業界4団体の会長が、「今、印刷業界に求められていること」について、本音で意見交換！ 伝えるコミュニケーションの使命・本質を司る印刷業界の明るい未来を唆し、展望を語っていただきます。		
12:30~13:30	印刷タイムス株式会社	会場：B／セミナー番号：①／定員：40人
テーマ：印刷会社の未来を再設計する ～価格競争から価値創造へ～ 株式会社ソウブン・ドットコム 代表取締役 木村崇義氏 【進行】印刷タイムス株式会社 シンクイノベーション株式会社 代表取締役 三輪直之氏 原材料費や人件費の高騰、市場環境の変化が進む中、印刷会社はこれから何を強みに成長していくべきか。学術団体支援を軸に事業領域を拡大したソウブン・ドットコム・木村崇義氏と、推し活市場で新たなビジネスモデルを構築したシンクイノベーション・三輪直之氏が対談。価格競争から脱却し、顧客課題の解決や価値協創を通じて収益を生み出す仕組みづくり、人材不足時代の自動化戦略、地域印刷会社の可能性について語り合います。		
13:45~14:45	リコージャパン株式会社	会場：A／セミナー番号：②／定員：50人
テーマ：自分で使う道具は自分で作る時代 ～「Illustrator x スクリプト」ははじめの一歩 株式会社スイッチ 代表取締役 鷹野雅弘氏 Illustratorのアクションでは限界がある「そもそもできないこと」を実現するのがスクリプトの力です。 今や、生成AIを活用すればプログラミング知識ゼロからでもスクリプトを作れる時代。本質はコード書きではなく、「自分の作業を俯瞰し、無駄を見抜く視点」を養うことにあります。 本セッションでは、スクリプトの動かし方の基本から、AIを使った簡単なツール制作までをコンパクトに凝縮してご紹介。単なる自動化を超えて、自分の仕事を自分で進化させる一歩を踏み出しましょう！		
15:00~16:00	ホリゾン・ジャパン株式会社	会場：B／セミナー番号：③／定員：40人
テーマ：常識を疑おう！ 今こそ経営者が変えるべき「マインドセット」と、ホリゾンが描く未来のスマートファクトリー ホリゾン・ジャパン株式会社 代表取締役社長 宮崎進氏 人手不足や人件費の高騰、価格転嫁に悩む印刷業界。今必要なのは設備の導入だけでなく経営者の「マインドセット」の刷新です。 本セミナーでは他産業の自動化と人間解放の思想をヒントに、古い常識の打破をご提案します。そして、ホリゾンが描くスマートファクトリーのその先にある「従業員の幸せ」と、若者が集まる高収益で「花形」な印刷工場へ変革するシナリオを参加者と一緒に考えていきます。		

●セミナー受講申し込みは、下記よりお願いします。


 こちらにアクセス
<https://www.print.or.jp/form/hope2026form.html>


 こちらのQRコードからアクセス
 

受講申込期日

令和8年8月26日(水)(ただし、申込先着順とし、定員に達し次第、申込受付を終了します。)

HOPE2026 セミナー／第2日 ― 9月3日(木)

[会場] A：小展示場(1階) B：レセプションホール(2階)

受講料：無料

10:30~12:00	HOPE実行委員会	会場：A／テクニカルセミナー／定員：50人
テーマ：「AI=常識」時代のクリエイティブ活用法 スタジオねこやなぎ 代表 大須賀 淳 氏		
生成AIの爆発的進化は社会のあらゆる分野において最大のトピックとなり、クリエイティブ分野においても、一時の流行ではない「新しい常識」を生み出し始めています。 本セミナーでは、AdobeのPhotoshopやIllustratorなどの定番ツールや各種のAIサービスを活用し、これまでの作業の大幅な効率アップ、クオリティ向上や新たな可能性の開拓など、あらゆる未来につながるワークフローや使いこなしポイントをご紹介します。		

12:30~13:30	プリントネット株式会社	会場：B／セミナー番号：④／定員：40人
テーマ：ファブレス時代の印刷会社の営業戦略 プリントネット株式会社 特販部 部長 川 野 正 一 氏		
弊社は1968年に小規模事業者として創業し、現在は全国に向けてネット印刷サービスを提供しております。 近年では、設備投資よりも利益に直結する手段として、多くの印刷会社様の外注パートナーとしてもご活用いただいております。 本セミナーでは、ネット印刷を活用し、ご利用者様がどのように弊社を活用して課題を解決しているかを、具体的な事例とともにご紹介いたします。		

13:45~14:45	株式会社いけうち	会場：A／セミナー番号：⑤／定員：50人
テーマ：湿度管理で創る、品質と生産性が向上する印刷環境 株式会社いけうち 空調事業部 マネージャー 堀 場 晃 平 氏		
本セミナーでは、乾燥による静電気の発生や、用紙の伸縮といった印刷業界共通の課題を解決し、最適な生産環境を維持するための各種加湿システムについてご紹介いたします。 実際の使用事例に基づき、2流体加湿システムや1流体加湿システムによる静電気対策、乾燥対策、冷房効果を含めた手法や実績などをわかりやすく解説いたします。		

15:00~16:00	ハイデルベルグ・ジャパン株式会社	会場：B／セミナー番号：⑥／定員：40人
テーマ：利益を生み出す印刷工場の新常識 ～デジタルとオフセットを活かした生産性向上と収益力強化～ ハイデルベルグ・ジャパン株式会社 エクイップメントソリューションズ本部 松 尾 力 氏		
人手不足や多ジョブ・小ロット化が進む印刷業界において、デジタル印刷とオフセット印刷を組み合わせたハイブリッド生産が、新たな生産モデルとして注目され始めています。セミナーでは、ジョブごとに最適な生産方式を選択し、生産性と収益性を向上させるための考え方や実践手法をお伝えします。受注から製版、印刷、加工までの工程をデータでつなぎ、自動化・省人化を推進することで、属人的な業務や判断を削減し、安定した生産体制の構築につながります。限られた人員でも利益を生み出せる「スマートプリントショップ」実現に向けたヒントをお届けします。		

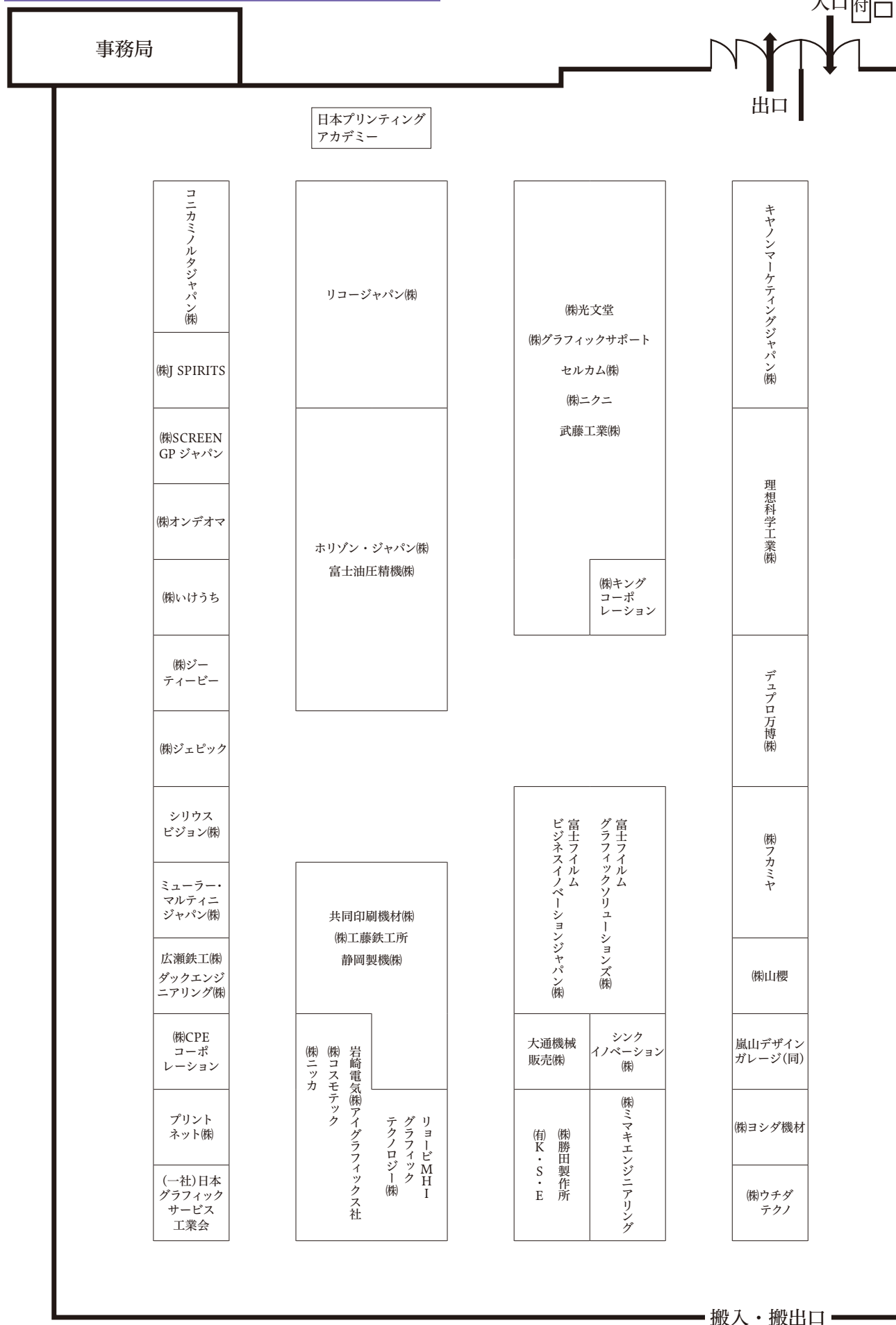
●セミナー受講申し込みは、下記よりお願いします。

 パソコンの場合	 こちらにアクセス https://www.print.or.jp/form/hope2026form.html
--	--

 スマホの場合	 こちら QRコードからアクセス	
---	---	---

受講申込期日 令和8年8月26日(水)(ただし、申込先着順とし、定員に達し次第、申込受付を終了します。)

HOPE2026 展示会 会場案内図



HOPE2026出展機器等のご紹介

嵐山デザインガレージ(同)

商品紹介

(株)いけうち

加湿器HYOHMer-E
ポンプユニット
加圧タンク
コンプレッサー

岩崎電気(株)アイグラフィックス社

商品紹介

(株)ウチダテクノ

カッタークリーサーAeroCutX
印字装置付帯掛機テーピットWX II -Pen
カードカッターきりっ子MC-22Tplus

(株)オンデオマ

◇印刷業務を助ける「JOIN」シリーズ
クラウド型バリアブル印刷データ出力システム
「PICバリアブル」
名刺のための印刷物受発注システム「ASP名刺」
ポスト投函対応の「クラフト名刺ケース(発送用名刺
ケース)」

(株)勝田製作所

断裁機SH250HOP

キヤノンマーケティングジャパン(株)

プロダクションプリンターimagePRESS V900
大判プリンターGP2000
サンプル展示コーナー

共同印刷機材(株)

商談コーナー

(株)工藤鉄工所

紙揃機ラクーンALT-10
自動上昇スクーパーK-LV50E

(株)キングコーポレーション

imegePRESS V900
KBD UF-02

(株)グラフィックサポート

ApeosPrint C5570PI-pro
CardImpact Cubu2
EPSON LX-C10060
断裁機 prusfolder PFS-100
名刺カッター Proscut PCN-15N

(有)K・S・E

製本機サポート

(株)光文堂

KBD AUTO CAT0710PLUS
KBD Vカラー
KBD インキディスペンサー
KBD スピンミキサー
KBD デジタルフラットベット箔転写機
KBD デジタルシート箔転写機
KBD レーザーカッターメイクス
KBD 作業支援ロボットサポート
KBD ソフト関係

コスモテック(株)

商品紹介

コニカミノルタジャパン(株)

AccurioPress C5080

(株)ジーティービー

印刷検査装置 Correct Eye SIS

(株)CPEコーポレーション

商談コーナー

(株)J SPIRITS

PrintSapiens

(株)ジェピック

パネル展示

静岡製機(株)

気化式冷風機 RKF-406α
加湿器 HSE501

シリウスビジョン(株)

卓上品質検査機 S-Comet

シンクイノベーション(株)

デジタルガチャ
卓上簡易自動機
コンプレッサー

(株)SCREEN GPジャパン

商品紹介

セルカム(株)

インクジェットプリンター AJ-330E

大通機械販売(株)

商談コーナー

ダックエンジニアリング(株)

商品紹介

デュプロ万博(株)

選択丁合機 DMコレクター
 カッタークリーサー DL-618
 検査装置 SR-130
 卓上丁合機 DFC100NⅢ
 インクジェット複合機 LC-C10060

(株)ニクニ

湿し水濾過装置 エバークリーンECQ503

ニッカ(株)

商品紹介

(一社)日本グラフィックサービス工業会

事業紹介

広瀬鉄工(株)

商品紹介

(株)フカミヤ

FUJIFILM RevoriaPressSC285S
 FUJIFILM RevoriaFlowSC21サーバー
 カール事務機プロスカット

富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)

FormMagic
 XMF PressReudy
 キュリア

富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)

Revoria PRESS EC2100S
 エアークション給紙トレイC1-DSXL
 インターフェイスデカラーD1
 スマートモニタリングゲート
 中綴じフィニッシャー
 プリントサーバー・モニター

プリントネット(株)

商品紹介

ホリゾン・ジャパン(株)**富士油圧精機(株)**

無線綴じ機 BQ-300
 三方断裁機 iCE TRIMMERHT-300
 コンプレッサー

(株)ミマキエンジニアリング

UVプリンターUFJ-6042MkIIe
 レーザー彫刻機(本体)C180Ⅱ
 レーザー彫刻機コンプレッサー(本体接続)
 レーザー彫刻機集塵機(本体下に設置)

ミューラー・マルティニジャパン(株)

商品紹介

武藤工業(株)

UVプリンター XJP-461UF
 UVプリンター VJ628MP

(株)山櫻

封筒対応高速インクジェットプリンター YJ-10050
 小サイズ名刺・はがきプリンター
 箔印刷プリンター HAK110

(株)ヨシダ機材

商談コーナー

リコージャパン(株)

RICHO ProC7500
 RICHO ProC5400S
 RICOH AutoColorAdjuster
 バーコードリーダー
 HUB

理想科学工業(株)

ORPHIS GN9831
 リソグラフST939
 インテグラト

リョービMHIグラフィックテクノロジー(株)

商品紹介



昨年のHOPE2025展示会場

北海道印刷関連業協議会総会・新役員を選出

北海道印刷関連業協議会は、平成8年度総会を7月2日午後5時から札幌市中央区の札幌パークホテルで開催し、任期満了による役員改選を行った。

新役員は以下のとおり。

会 長	岸 昌 洋	北海道印刷工業組合理事長
副会長	石 田 雅 巳	北海道製本工業組合理事長
副会長	森 川 唯 志	北海道紙器段ボール箱工業組合理事長
副会長	小田島秀明	北海道フォーム印刷工業会会長
理 事	小 作 直 義	北海道洋紙代理店会会長
理 事	佐久間貴士	北海道洋紙同業会会長
理 事	森 田 稔	北海道印刷インキ同業会代表幹事
理 事	今 野 達 則	北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合理事長
理 事	藤 田 靖	一般社団法人日本グラフィックサービス工業会北海道支部長
理 事	吉 田 均	北海道シール印刷協同組合理事長
理 事	石 田 勝 年	北海道スリーン・デジタル印刷協同組合理事長
理 事	清 水 教 弘	富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社北日本支社北海道支店長代理
理 事	山 口 典 彦	株式会社SCREEN GPジャパン北海道営業所長
理 事	萬 寿 正 裕	コニカミノルタジャパン株式会社プロフェッショナルプリント事業部東北・北海道グループリーダー
理 事	山 賀 義 徳	エム・ビー・エス株式会社札幌営業所長
理 事	青 野 秀 和	リコージャパン株式会社デジタルサービス営業本部北海道支社デジタルサービス推進部PP・プリンティングDXグループリーダー
監 事	大 和 繁 樹	北海道印刷工業組合副理事長
監 事	岡 部 信 吾	北海道印刷工業組合副理事長

(株)アイワードが 「HOKKAIDO森と本をつなぐ展」開催

株式会社アイワード(奥山敏康社長/札幌市中央区北3条東5丁目91番地)は、毎年開催している「自費出版・記念誌展」を、今年は「HOKKAIDO森と本をつなぐ展」として、7月3日・4日の2日間、札幌市中央区の札幌市民交流プラザSCARTSモールで開催した。

同 展では、今、温暖化への取り組みが世界各国で進むなか、北海道の広大な森林と紙の関係、紙の本の在り方を探求していた。

併せて、同展でしか出会えない自費出版や記念誌のほか、同社が制作した写真集やアートブックが多数展示され、本づくりの相談コーナーが設けられ、多くの方が訪れた。





HOPE 2026

HOKKAIDO PRINT EXPO

DX共創・デジタル革命

印刷は儲かるビジネス、紙メディアの魅力をデザインする

展示会 ×
セミナー
8セッション

日時

2026年

9月2^(水)日・3^(木)日

10:00~17:00 (3日は16:00終了)

会場

アクセスサッポロ

札幌市白石区流通センター4丁目3番55号
事務局電話 011-861-3210 (8月31日~9月3日)

主催

HOPE実行委員会

北海道印刷工業組合

北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合

北海道製本工業組合・北海道フォーム印刷工業会

北海道紙器段ボール箱工業組合

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会北海道支部

後援

経済産業省北海道経済産業局・北海道・札幌市

北海道中小企業団体中央会・札幌商工会議所

一般社団法人北海道中小企業家同友会

一般社団法人日本グラフィックサービス工業会

協賛

株式会社印刷出版研究所

ニュープリンティング株式会社

印刷タイムス株式会社



黄金岬からみる落陽(留萌市大町)



表紙の解説
留萌 (るもい) アイヌ語のルル・モ・オッペ(rur-mo-ot-pe)＝「潮が静かに入る川」の意。 ルルは(汐)モは(静)ヲッは(ある)ペは(水)のこと。 「汐が奥深く入る川」という意味で、留萌市を流れる留萌川から名づけられている。

参考資料：「留萌市ホームページ」 <https://www.e-rumoi.jp/>

難読レベル	
★☆☆☆☆	道外の方でも読める
★★☆☆☆	道民のほとんどが読める
★★★☆☆	道民の半分くらいが読める
★★★★☆	道民でもほとんど読めない
★★★★★	地域住民以外は読めない

※難読レベルは北海道印刷工業組合独自の基準です。

※難読レベルは北海道印刷工業組合独自の基準です。